

# 経営比較分析表

岐阜県 下呂市

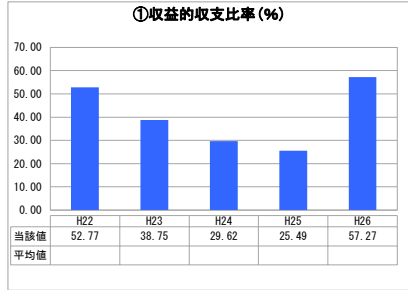
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.26	97.14
1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)			
3,396			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
34,976	851.21	41.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
89	0.06	1,483.33

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



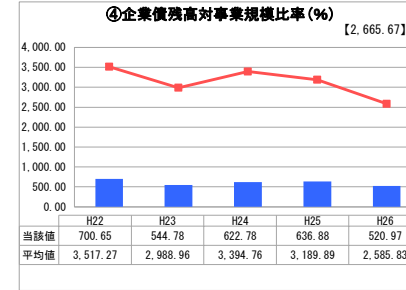
「単年度の収支」



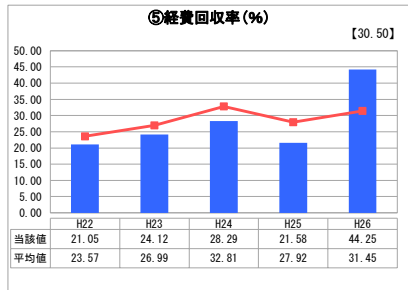
「累積欠損」



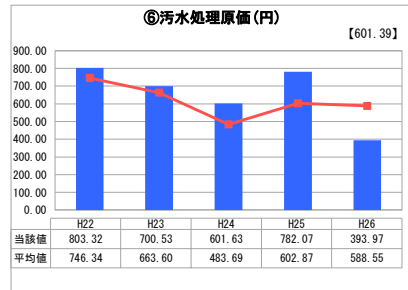
「支払能力」



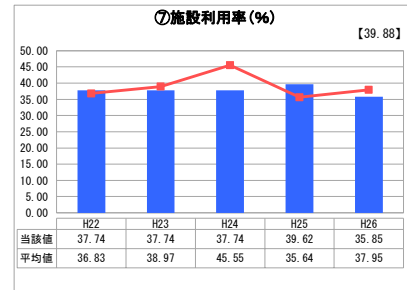
「債務務高」



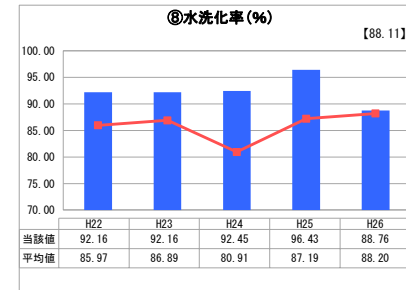
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

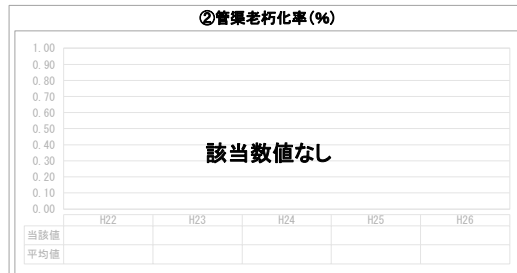


「使用料対象の捕捉」

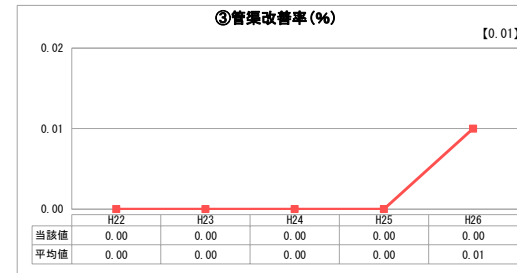
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は毎年赤字であるとともに経費回収率も100%を大きく下回っている。汚水処理原価、施設利用率、水洗化率は類似団体と同程度または上回っているため適切な処理と分析するが、処理規模が極めて小さく維持管理費を補っていない。更新投資の費用の確保も困難で、将来の見込みを踏まえた効率的な投資が必要である。(H25からH26にかけて収益的収支比率、経費回収率、汚水処理原価の変動幅が大きいのは、一般会計と下水道会計の負担の見直しにより繰入額が増えたため指標が改善したためです)

### 2. 老朽化の状況について

建設後10年が経過する施設が多く、機器の更新に迫られているため、長寿命化計画により効率的な投資を図っている。管路についても不明水の流入が多くなってきているため調査に取り組んでいる。

### 全体総括

人口減少などにより有収水量が減るとともに、基金も枯渇したなかで、老朽施設の更新や耐震化に取り組まなければならない。料金改定などによる効率的な投資、運営を心がける。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。